

ポストコロナ元年の新たな始まり



市民の皆様には3年以上にわたるコロナ禍の中、各種感染拡大防止対策に深いご理解とご協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルスも5月8日から、これまでの感染症法上の「2類相当」から「5類」へと移行し、市民生活や地域経済活動などの世の中の動きも新たな形で動き始めました。

なお、桶川市では、令和5年3月に今後の10年間の行政運営の指針となる「桶川市第六次総合計画」を策定いたしました。今後、本計画に基づき、様々な事業や取組みを進めていくこととなりますが、その将来像には「学び豊かな 笑顔あふれる 幸せ未来都市 おけがわ」を掲げております。これからも市民の皆様とともに「夢と希望を未来につなぐ持続可能なまちづくり」に全力で取り組んでまいりますので、変わらぬご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願いいたします。

春のふれあいフェスタ

令和5年5月14日、駅西口公園と市民ホールを会場に「2023おけがわ春のふれあいフェスタ」が開催されました。

駅西口公園では、様々な団体による体験・遊びのコーナーや、飲食ブース、ステージアトラクション等が行われ、子どもから高齢者まで沢山人たちの笑顔があふれ、ポストコロナの幕開けを感じさせる素晴らしいイベントとなりました。



令和5年度主な事業より

中学校水泳授業の民間委託／小中学校体育館のエアコン整備

● 中学校水泳授業の民間委託

令和3年度に東中学校、令和4年度には東中学校と西中学校で試験的に実施してきた水泳授業の民間委託を、令和5年度は、いよいよ4校すべての中学校で本格的に実施します。

民間スイミングスクールの屋内プールを利用することにより、天候に左右されない安定的な水泳授業を行うことができます。また、高度な水質管理のもと専属のコーチ陣による生徒のレベルに応じた指導が可能となるとともに、教員の負担軽減、プール維持管理費の削減も図れます。

● 小中学校体育館空調(エアコン)設備整備事業

近年の記録的な猛暑などを鑑みて、市内すべての小中学校の体育館に空調設備の整備を行います。

また、学校の体育館は、災害時の避難場所としても使用されるため、空調整備することで、より安心かつ快適な避難空間を創出することが出来ます。



民間プールでの水泳授業の様子(埼玉スウィンスイミングスクール 桶川校)

■ 整備予定

令和5年度	令和6年度	令和7年度
桶川小学校 加納小学校 川田谷小学校 桶川西小学校	桶川東小学校 日出谷小学校 朝日小学校	桶川中学校 桶川東中学校 桶川西中学校 加納中学校

災害に強いまちづくり

● 区長会視察研修(令和5年1月25日)

桶川市区長会日帰り視察研修会の「防災科学技術研究所」(茨城県つくば市)の視察に同行しました。



文部科学省所管の防災科学技術研究所では、リアルに再現された自然災害を体験することが出来ます。

当日は10分当たりの雨量50.0mm(1時間当たりの雨量300mm)の「ゲリラ豪雨」と呼ばれる局地的な降雨を再現できる世界最大規模の散水装置を備えた「大型降雨実験施設」を見学しました。

また、兵庫県の研究所にある約100坪の広さの台の上に実際の家やビルなどの建物を乗せて、阪神大震災クラスの振動を再現し、構造物の破壊挙動を再現することが出来る「E-ディフェンス」について映像を見ながら説明を受けました。



区長同士の情報交換や親睦を深めるとともに、地域コミュニティの活性化や地域力向上にもつながるとも貴重な機会となりました。

● 大規模災害発生時における地域コミュニティ(共助)の重要性について

白馬の奇跡

平成26年11月に長野県で発生したマグニチュード6.7の地震で、被害の大きかった白馬村神城(堀之内地区)では、26人が倒壊した民家の下敷きになったり閉じ込められたりしましたが、倒壊した家屋の下敷きになった被災者を近所の住民たちが助け出すことなどにより、1人の犠牲者も出さなかったことから、「白馬の奇跡」と呼ばれています。

白馬村では、各地区で10世帯位を目安にリーダー、補佐役を決めて、そうした組織単位であらかじめマップの作成や更新などを行い、何かあった時も「あの家には高齢者が住んでいる」、「あの家には何人住んでいる」といったことがすぐに分かるようにしており、誰が救助に行くなども決めてあったことなどから犠牲者ゼロにつながったと言われています。

女性活躍の推進に関する連携協定

令和5年3月27日、株式会社ママスクエアと大和リース株式会社との間で「女性活躍の推進に関する連携協定」を締結しました。

株式会社ママスクエアは、「子どものそばで働ける世の中を当たり前」を理念とする企業で、坂田地区内にある公民連携施設の「フレスポ桶川」内に事業所を構えています。ワークスペースに隣接した育児スペースで専属のスタッフが子どもたちの面倒を見ていてくれていて、子どもたちの様子を執務室から見る事が出来、子どもたちも母親が働く姿を見ることが出来ます。

食事やおむつ替えは基本的には母親が行うことから、まさに子どもを直接育てながら安心して仕事出来るオフィスとなっており、働く女性を中心に地域の雇用創出に貢献していただいています。

これまで新型コロナワクチン接種のコールセンターの業務を担っていただいております。

また、大和リース株式会社には、平成31年4月に公民連携手法により整備された、坂田コミュニティセンターのある「フレスポ桶川」を市と連携し運営していただいています。



協定締結により、市と民間事業者双方の資源を有効に活用しながら、女性活躍を推進するための取り組みを、より一層進めていきます。

駅東口整備事業

令和5年度は、南小跡地の官民連携を踏まえた利活用調査(民間企業ヒアリング・市民アンケート)と駅前広場用地購入の予算を計上しました。引き続き早期完成に向けて鋭意事業を進めてまいります。

■ 用地取得率(令和5年5月1日現在)

市事業分	駅前広場	87.77%
	駅東口通り線	70.23%
県事業分	仲仙道線	91.69%



(東口駅前広場完成予想図)